

代表質問

代表質問は、新年度の予算を審議する議会において、会派を代表して行う質問で、市長の市政執行方針および教育長の教育行政執行方針について、その所信を質すものです。

今回の定例会では5つの会派全てが代表質問を行いました。ここでは、質問に対する答弁のうち、一人につき一項目を掲載しております。

身の丈にあつた予算編成

民主・市民ネット 阿部 善一

質問 平成22年度予算編成は、マニフェストを意識するあまり身の丈にあつていないのではないかと。

答弁 この度の予算編成は、行財政改革新5カ年計画に基づき、人件費の縮減や各種施策の洗い直しにより財源を生み出す一方、地域経済の活性化策や子育て支援の充実などが、市民福祉の向上に努めたが、財源不足を基金や市債活用により対応している状況である。今後、行財政改革の推進等により、持続可能な財政基盤の確立に取り組むたい。(市長)

縄文遺跡群の世界遺産登録

公明党 瀬尾 保雄

質問 「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界遺産登録に向けた進捗状況とその課題を伺いたい。

答弁 平成20年12月の世界遺産暫定リスト登録後、昨年6月に4道県の知事と関係市町村長、教育長で構成する登録推進本部を設置し、本登録の目標年度を平成27年度として取り組みを進めている。本登録への課題は、国際的な合意形成の必要性が指摘されていることから、諸外国における普及・啓発活動を通じ、鋭意努力していきたい。(教育長)

個人質問

個人質問は、市の行政全般にわたって、市長をはじめとする執行機関に対し事務の執行の状況および将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め、または疑問を質すものです。

今回の定例会では18名の議員が個人質問を行いました。ここでは、質問に対する答弁のうち、一人につき一項目を掲載しております。

開発行為における条例遵守

民主・市民ネット 福島 恭二

質問 これまでの市長の発言は、行政手続条例を無視し、市民の権利や利益の保護よりも選挙や市の利益を優先したのではないかと。

答弁 市政運営上発生する様々な事象は、その都度調査、検証した上で一定の判断を、対応してきており、今後も公平・公正で透明性のある行政運営を押し進め、信頼される市役所づくりに努めたい。石川中央地区の問題についてもこれまでの経過を踏まえ、誠意を持って協議をし、対応していきたい。(市長)

高卒者の就職難への認識

新生クラブ 佐古 一夫

質問 高卒者の就職難は、社会の責任であると考え、市長の見解と対策を伺いたい。

答弁 卒業時に就職できなかった場合、将来にわたり不安定な雇用が継続する恐れがあり、高卒者の就職は社会全体で取り組まなければならない課題と認識している。国や北海道も支援措置を講じているが、市も地元就職の受け皿を拡大するため、新規高卒者を正規雇用した中小企業者に対する補助など、一人でも多くの高卒者が就職できるように全力を尽くしたい。(市長)

箱館奉行所での委員会等開催

市民クラブ 北原 善通

質問 復元される箱館奉行所内では、新しい発想として各種委員会等を開催するなど政治的活用をしようか。

答弁 各種委員会等の開催は、奉行所自体が本来行政を執り行う場であったことを考慮すると、広く全国に存在をアピールする手段にもなるのではと考えており、開館後の状況を見ながら議会とも相談していきたい。

提案も含め、指定管理者が行う事業以外にもふさわしい有効な活用方法を指定管理者とも協議したい。(市長・教育長)

労働者派遣法改正への認識

日本共産党 紺谷 克孝

質問 改正法案では、製造業で常用雇用を原則禁止の例外とするなど、法案の抜け道となっている。抜け道のない抜本的改正に変えるべきと考え、市長の見解はどうか。

答弁 改正法案が今国会に上程される見通しとなっているが、安定的な雇用の確保と労働者の権利擁護の観点から現行法の抜本的な改正が必要と考えているところであり、国会の場で十分に審議して、いい方向を選択していただきたいと考えている。(市長)

今後の効果的な雇用対策

新生クラブ 浜野 幸子

質問 市は様々な雇用対策に取り組んでいるが、その場しのぎではとの心配もある。今後の雇用対策をどう考えるか。

答弁 危機的状況の中、新規高卒者を正規雇用した中小企業に補助金を交付するほか、就職困難者の雇用機会拡大が期待できる国の制度の利用促進を図る「トライアル雇用奨励補助金」、国の基金を活用した「ふるさと雇用再生特別交付金事業」、「緊急雇用創出事業」など国や道、関係機関と連携し雇用改善に結びつく事業に取り組むたい。(市長)

現函館駅への新幹線乗り入れ

市民クラブ 能登谷 公

質問 北海道新幹線札幌・長万部間の先進工事は道央圏の工ではないか。市民は現函館駅への乗り入れを望んでいると思うが函館としてのエググを出している時期ではないか。

答弁 札幌・長万部間の先行着工は、新函館・札幌間の全線着工との思いから目標を掲げたものと受け止めている。現駅への乗り入れ問題は、費用と時間短縮効果の問題の中で整理された経過があり、既に工事も進んでおり、協調しながら進めていく必要があると考えている。(市長)